



まんぷく静岡

in
東京

Manpuku Shizuoka

vol.01



浜名湖花博2024の詳細は、HPを御覧ください。

HPは
こちら



前売入場券好評販売中 浜名湖花博2024

チケット
購入は
こちら



2004年に544万人を動員した「浜名湖花博」から20周年を記念して、2024年春に「浜名湖ガーデンパーク」と「はままつフラワーパーク」の2つの会場で、「浜名湖花博2024」を開催します。「人・自然・テクノロジーの架け橋～レイクハマナ デジタル田園都市～」をテーマに、デジタルと花緑に囲まれた憧れの暮らしを提案します。

会場では、「緑の魔術師」石原和幸氏や吉谷桂子氏ら多数のガーデンデザイナー監修の庭園に加え、先端技術を駆使したデジタルアトラクション、静岡県食材のグルメなど魅力が満載です。

現在「前売入場券」を販売しています。スマートフォンのほか、コンビニや静岡県内の取扱店舗でも御購入いただけます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

小学生が修学旅行で地元をPR

修学旅行で都内を訪れた静岡市立蒲原東小学校の6年生40人が11月1日、都道府県会館の6県（山形、新潟、富山、山梨、長野、兵庫）の事務所で、桜エビ、鰯の削り節といった特産品や宿場町の歴史など、蒲原のPRを行いました。

PRを終えた児童達は「地元の魅力をたくさん伝えることができた。蒲原に来て欲しい。私も兵庫県の話を聞いて行ってみたくなった。」「緊張したけど、笑顔で発表できた。長野県の観光地PRシールと名産の飴をもらって嬉しかった。」と感想を述べ、地元の魅力を紹介できたという達成感を感じていました。

同行した先生は「堂々とPRできていた。蒲原をPRするだけでなく、東京事務所職員との対話を通して他県の特産品についても学ぶことができた。魅力を伝えた時の相手の反応からも、子ども達は蒲原の良さを感じられたと思う」と話していました。



東京事務所職員に地元の魅力をPRする児童

編集後記



ふじのくに大使館公使（所長）芹澤 真一

〈ふじのくに大使館〉静岡県東京事務所は、首都圏の皆様には静岡県の魅力をこれまで以上にお伝えするため、静岡ふるさと通信をリニューアルします。

企画、取材、制作の全てを東京事務所の職員が行なっていきます。職員だから知っている、皆様のお役に立つ情報を発信していきますので、御期待ください。

令和6年4月以降は、郵送でのお届けを止め、電子メール等での配信に変更します。配信方法の変更については次回以降に御案内いたします。

今月の「まんぷく静岡in東京」

店舗紹介



伊豆の旬
やんも
丸の内店

伊豆直送の新鮮な魚介 を使った正統派和食店

静岡県島田市出身で静岡愛溢れる木村料理長が静岡から取り寄せた様々な食材で作る料理は、どれも絶品です。特に、炭火で焼いた魚は、外は「カリッ」、中は「フワッ」、そしてカリ・フワ触感の後には、ギョツと閉じ込められた魚の旨みが口の中いっぱいになり、箸が止まりません。おすすめは、さば塩焼き。やんもでさば塩焼きを食べるから、さばの虜です。

やんも丸の内店は、令和五年十一月に開店二十周年を迎えました。それを記念して、島田市出身の落語家三遊亭遊喜師匠の落語と島田のお酒＆食材を楽しむ会が開催され、常連客や生産者が美味しく楽しいひと時を過ごしました。二十年間、丸の内でも多くの人に愛され続けている理由は、木村料理長の熱い料理愛と静岡愛があるからこそです。静岡食材を使った本格的な和食と静岡のお酒を楽しむ「やんも丸の内店」、おすすめです。

伊豆の旬 やんも 丸の内店

詳細はまんぷくWEB

住所：東京都千代田区丸の内3-3-1

新東京ビルB1F

最寄駅：JR山手線、地下鉄有楽町線「有楽町駅」、地下鉄日比谷線「日比谷駅」



「まんぷく静岡in東京」とは

「まんぷく静岡in東京」は、首都圏での静岡応援団を増やすため、静岡県東京事務所職員が自ら取材して集めた首都圏にある静岡ゆかりのお店や首都圏で行われる静岡関連イベント、観光情報等を随時発信しているSNSとWebサイトです。



落語と島田のお酒＆食材を楽しむ会

伊豆地域

第30回伊東温泉めちゃくちゃ市



伊東市や伊豆半島の各市町、姉妹都市である諏訪市（長野県）と友好都市である広野町（福島県）の海産物・農産物・お菓子・B級グルメなどの名産品をお得な価格で購入できる物産展を開催します。

ステージイベントとして、目玉商品の「大魚のひもの」を中心に各市町の名産品、宿泊券等が出品される「めちゃくちゃ大オークション」などの参加型アトラクションも実施予定です。

◆ **日時** 令和6年1月27日（土）9時~16時

1月28日（日）9時~15時

◆ **場所** 松川藤の広場（伊東市渚町1）

詳細は
こちら



オークションの様子

お問い合わせ 伊東市観光課 ☎0557-36-0111

東部地域

毘沙門天祭が2月に開催



香久山妙法寺（富士市）では、本殿で祀られている毘沙門天王が旧暦の1月7日から9日まで人々のもとへ下り、願い事を聞いてくれるといわれ、江戸時代から「毘沙門天大祭」が開催されています。大祭は全国からダルマ屋が集まる日本最大の「ダルマ市」としても有名です。だるま屋も含め、大祭に出店する露店は例年1kmを越え、その賑わいは「東海一の高市（たかまち／縁日のこと）」ともいわれています。日本一の規模ともいわれる、活気あふれるだるま市で、家族の1年間の幸福をだるまにお祈りしませんか。

令和6年は、2月16日（金）~18日（日）に開催予定です。



ダルマ市の様子

中部地域

牧之原の新名産！波乗りレモン



かつてお茶の生産量が日本一だった牧之原ですが、最近は耕作放棄された土地も増えています。お茶の需要低下と価格下落に対処するため、牧之原の気候と土壌がレモン栽培に適していることもあり、お茶からレモンへの転作を進めています。お茶に次ぐ新たな名産品としてその名も”波乗りレモン”プロジェクトが始まりました。

次世代につなぐ持続可能な農業を地域おこし協力隊と農家が協力してご当地ブランドとして”波乗りレモン”を広めていきます。

12月末日まで下記サイトにてクラウドファンディング実施中。

詳細は
こちら



西部地域

ふくろい夜宵（よるよい）プロジェクト



詳細は
こちら



袋井の冬の夜を楽しんでいただくため、今年も「ふくろい夜宵（よるよい）プロジェクト」を開催します。法多山、可睡齋のライトアップをはじめ、袋井駅北口には、市内中学・高校の学生がデザインした行灯や市内祭典各車の弓張提灯を、南口（田端東遊水池公園）には、近隣の幼稚園・こども園やワークショップなどで作成されたカラフルな行灯を設置し、袋井の夜を彩ります。袋井駅周辺のライトアップは1月31日まで。

※法多山、可睡齋のライトアップは12月3日で終了しています。

お問い合わせ 袋井市観光協会 ☎0558-43-1006



県民だより12月号のオススメ記事

県民だよりは毎月1回発行。

静岡県のホームページからインターネット版県民だよりを御覧いただけます。

インターネット版
県民だよりはこちら



県政この1年

今年も残すところあと1か月になりました。今年1年を主な行事と出来事で振り返ってみましょう。



●2023年の主な行事と出来事

- 1/22 富山県・石川県と三霊山連携協定を締結
- 2/23 東アジア文化都市2023静岡県を宣言
- 3/1 県パートナーシップ宣誓制度を開始
- 4/7 県内初の夜間中学ふじのくに中学校が開校
- 5/24 県・韓国忠清南道友好協定締結10周年記念公演を開催
- 6/22 富士山世界文化遺産登録10周年

- 7/1 新潟県、長野県、山梨県と連携した、新たな観光プロジェクト、黄金KAIDOが始動
- 8/30 ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアムを設立
- 9/6 駿河湾フェリーなどを活用した海上輸送訓練を初めて実施
- 10/1 ふじのくに地球環境史ミュージアム 来館者が50万人達成
- 11/1 ふじのくに食と温泉文化フォーラムを開催
- 12/3 東アジア文化都市2023静岡県ふじの式典を開催

WEB版県民だよりでは、紙面に収まりきれない今年1年の行事と出来事も紹介しています。



リニア中央新幹線静岡工区

県民の皆さまからの質問にお答えします



11月7日の第14回環境保全有識者会議(国設置)では、どのような議論が行われましたか。



▲南アルプスの稜線のお花畑



会議では、これまで議論を重ねてきたトンネル掘削による南アルプスの自然環境への影響と対策について、報告書(案)が示されました。

会議の中で、報告書(案)は大方針を示すものであり、県が意見書で指摘した課題を踏まえ、工事の前に不足している調査などを補う必要があるとされました。

また、委員から、JR東海が調査・環境保全対策などを確実に実施していくための管理体制の構築が重要などの意見がありました。

さらに詳しい内容はこちらで!!



[問い合わせ] 県環境局 ☎054(221)2421 FAX 054(221)2940



数字で見る静岡県 ~令和4年度 静岡県の財務諸表~

詳細はこちら



- 貸借対照表の資産から負債を差し引いた純資産は1,536億円。
- 道路整備等による資産の増加が負債(将来世代の負担)の増加を上回ったことにより、純資産(これまでの世代が形成してきた資産)が増加しました。
- 税金等の収益で負担する純行政コストは10,875億円。
- 行政サービス提供のための費用が減少し、税収や国庫等で賄うべき費用(純行政コスト)が減少しました。

(単位:億円)

区分			令和4年度	令和3年度	差額
貸借対照表	資産	A	39,090	38,402	688
	負債	B	37,554	37,452	102
	純資産	A-B	1,536	950	586
行政コスト計算書	経常費用	A	11,319	11,374	△55
	経常収益	B	455	431	24
	臨時損失	C	19	25	△6
	臨時利益	D	8	8	0
	純行政コスト	A-B+C-D	10,875	10,960	△85

○ふるさと通信に関するお問い合わせ

ふじのくに大使館 (静岡県東京事務所)

〒102-0093 東京都千代田平河町2-6-3都道府県会館13階

✉ tokyo@pref.shizuoka.lg.jp

☎ 03-5212-9035

WEB・SNSで最新情報を発信中



WEB



Facebook



instagram



X

「まんぶく静岡in東京」の公式SNSのフォローをお願いします。